

介護老人保健施設

ほのぼの苑

だより

発行所
〒018-1401
南秋田郡昭和町大久保字街道下22-1

医療法人 正和会
介護老人保健施設
ほのぼの苑

TEL (018) 877-7115
FAX (018) 877-7481

ホームページ
<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp>

編集責任者 加藤稔樹
発行責任者 小玉敏央



ほのぼの苑豆まき

「節分」には季節の分かれ目の意味があり、病氣や災厄を防ぐための行事が今日まで残ってきました。そこで、今年もほのぼの苑では・・・「鬼はあく外お〜」「福はあく内い〜」・・・入・通苑者の皆様やご家族の皆様との盛大な豆まきが開催されました。

「鬼」は想像上の怪物ですが、「コワイ」「オソロシイ」という印象があります。「人身に、牛の角や虎の牙を持ち、裸で虎の皮のふんどしをしめた形をとる。怪力で性質は悪い。」とされています。一方、ほのぼの苑産の鬼さん（お兄さん）達は：「立春と言ってもまだまだ冷えるしなあ；裸でふんどしはハズカシイ！」という様子で、青や赤の衣類を纏わせて頂くこととなりました。寒がりで性質は照れ屋なのです。そして、入・通苑者の皆様も豆の準備が完了し、いよいよ豆まきのスタートです。

居室のドアをノックし、「こんにちは。鬼ですが、お部屋に入っても宜しいですか？」「どうぞ。」「入室の許可を頂き、鬼一同「恐縮です。失礼します。うおおおっ〜！」。極めて原始的な奥ゆかしさと人間的なもどかしさが同居する雄叫びに、「アハハハハ！鬼は外〜！鬼はあく外お〜！」皆様は祝福の豆をまいて下さり、その後も苑内には笑い声が響き渡りました。豆まき終了後、入苑者の方が声をかけて下さいました。「楽しい思いをさせてくれてありがとうございます。嬉しかったです。」「・・・オニの目にも涙が浮かんだ出来事でした。

〜笑う門にはオニ来たる〜

温かく迎えて下さる皆様のもとへ、来年もオニがお伺い致します。

男鹿和太鼓愛好会

一月三十日、ほのぼの苑食堂にて一月の誕生会と「男鹿和太鼓愛好会」の皆さんによる「なまはげ太鼓」の演奏が行われました。誕生会では、毎月恒例となった誕生者の紹介や職員手作りの「カルメ焼き」を贈呈しました。そしていよいよ和太鼓の演奏です。この日の天候は、前が見えないほどの猛吹雪でしたが、そんな中「男鹿和太鼓愛好会」の皆さんは、雪まみれで来苑してくださいました。

場内に次々と和太鼓やドラがセツトされると、入苑者・通苑者の皆さんもどんな演奏が始まるのかと心の高鳴りが伝わってきました。そして開演・・・序曲の後、ドラの激かな音が響き渡ると共に「ヴオオウ！」と地響きの様な唸り声で、なまはげが入場してきました。なまはげが打つ曲は「真山おろし」といって、年に一度、御山から下山してくる様子を表現した荒々しい曲です。雄々しいなまはげの姿を見て、驚かされてしまう入苑者の方、喜び、握手を求めると色々な反応がありました。髪を振り乱し、太鼓を打つ姿は中に人間が入っているとは思えない程、大きな力強さを感じました。次に「真山がえし」という、下山してくるなまはげを感謝の気持ちで、お迎えする村人たちの様子を表現した曲で、とてもリズムミカルな楽しい曲でした。まるで太鼓が唄っているようで、入苑者・通苑

者の方々もテンポに合わせて、手拍子があり皆さんに沢山の笑顔が見られました。

その後「男鹿賛歌」「風神」と続き、最後には「アンコール！」の声まで飛び出して、二人の呼吸が、ピタリと合わなければ完成しないという「あ・うん」を披露して下さいました。テンポの速い曲で、太鼓の力強い音と締太鼓の甲高い音とのコントラストが、耳に心地良く流れてきて、とても清々しい気分になりました。

ある入苑者の方は「あんな素晴らしい演奏はなかなか聞けるものじゃない。胸とお腹にズシンと来た。聞いている間、涙が止まらなかった。感動したよ、ありがとう。」と嬉しい言葉を頂きました。

聞いている人の心に、感動や勇気を与えて下さった「男鹿和太鼓愛好会」の皆様には感謝致します。本当にありがとうございました。



ほのぼの雪祭り

入苑者の方々に秋田の冬まつりを感じて頂きたいと思い、食堂から見える場所に「かまくら」と「雪だるま」を、正面玄関には「雪灯籠」を作りました。

二月二日、ころころと天候が変わる中、午前中から作業に取り掛かりました。子供の頃に作って遊んだ時以来のことです。悪戦苦闘しながらも、なんとか良いものになりました。寒さも忘れ作業していると、入苑者の方々にアドバイスや温かい励ましのお言葉を頂き、ようやく完成させることが出来ました。

「横手のかまくら」のようにうまいかず、少し形も歪んでしまった「ほのぼのかまくら」ですが、ご家族の方と一緒にご覧になって喜ばれている方や、昔はよくかまくらの中で餅を焼いたり、甘酒を飲んだりして、楽しんだものだとか懐かしそうに、話をしてくださる方もいらっしゃいました。また、かまくらの中で温まっている猫の雪だるまを見て、なかには「あれ・・・犬だが？」と作った職員には、少しショクな感想も頂きましたが、「あの猫の雪だるまいいなあ。ほのぼの苑に幸せを運ぶ、招き猫みたいだね。」との嬉しい感想も頂きました。

そして・・・辺りが暗闇に包まれる中、いよいよロウソクに火が灯されると、雪の白さと暖かいオレンジ色の淡い光が広がります。それは見る人の心を自然と和ませ、そこにはとても

優しい時間が流れているような幻想的な世界でした。

賑やかに楽しく過ごす時間も良いのですが、静かに穏やかに、心が癒されるような、温かい気持ちになれるような、そんなほのぼのとした時間も大切にしていきたいと思えます。



今月のほおろオ

「今月のほおろオ」とは介護する上でのアドバイスや知識を、本人はもちろんのこと、ご家族の方にもお知らせするコーナーです。

介護保険改革の全体像

事務 加藤 稔樹

【はじめに】

最近、ニュースや新聞で取り上げられている介護保険の大幅な改革ですが、いよいよ本格化に向けて、動き出しました。

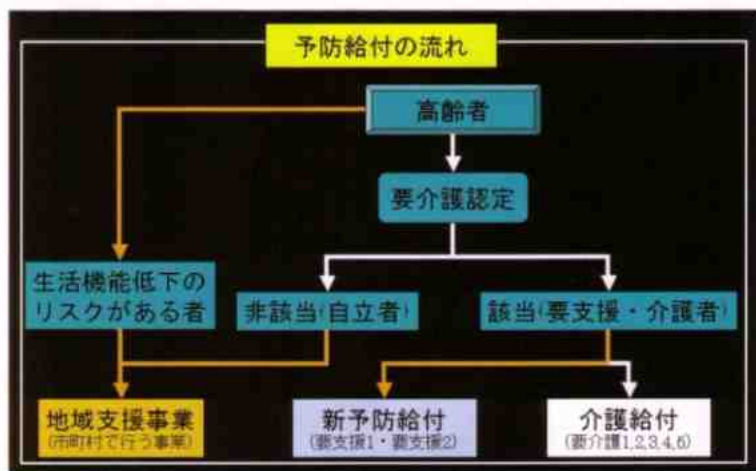
平成十八年に実施される予防給付、地域支援事業と今年十月から実施される施設給付の見直しについて焦点を当てて、お話ししようと思います。

【予防重視型システムへの転換】

介護保険が始まり、徐々に軽度の要介護者が増加してきました。今後、その軽度の方々の生活機能の低下が、なるべく進むことがないようにと考えられたのが、「予防サービス」と「予防給付」です。

二つの対象者は、現行区分の要支援の方と要介護度1の七割程の方で、要支援1と要支援2へと変更され、実施される見込みです。予防サービスの中には、「ヘルパー訪問や通所サービスが含まれ、新たに「運動器の機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」が導入され

ます。予防給付・予防サービスで改善した方は、市町村が行う「地域支援事業」を利用し、そのサービスを利用することにより、自立した生活が継続できるようにしようと考えられています。図に予防給付の流れを示してありますので、参考にしてください。白い矢印は、現行の流れを表し、オレンジの矢印は予防給付の流れを表しています。要介護1の認定を受けている方で、新制度が始まり、要支援2の認定を受けた方は、施設入所が出来ないことになり、現在、入所中の方でも、3年間の措置期間を設け、引き続き、入所できるとありました。



	介護保険1割負担金	居住費	食費	合計	差額
介護度1	25,470 (25,470)	10,000 (0)	48,000 (23,400)	83,470 (48,870)	34,600
介護度2	26,940 (26,940)	10,000 (0)	48,000 (23,400)	84,940 (50,340)	
介護度3	28,530 (28,530)	10,000 (0)	48,000 (23,400)	86,530 (51,930)	
介護度4	30,150 (30,150)	10,000 (0)	48,000 (23,400)	88,150 (53,550)	
介護度5	31,740 (31,740)	10,000 (0)	48,000 (23,400)	89,740 (55,140)	

※表中のカッコ内は、現在の負担額

【施設給付の見直し】
現在、施設の食費と光熱費などの居住費は、介護保険から給付を受けている状態のため、一割負担で済んでいます。今年十月から在宅と施設での生活費用の格差を無くすため、食費と居住費は全額を負担することになります。食費だけでも二万四千六百円の負担増、居住費を含めると、三万四千六百円の負担増となります。同様に通苑者への食事一回当たり、三百五十円の負担増となります。今後、必要と予想される利用料金を表にまとめましたのでご覧下さい。

2月の誕生会・行事ご案内

平成17年2月の誕生会は27日に行います。今回は、武産塾合気道修練道場・秋田大学合気道部の皆さんによる演武を予定しております。1年ぶりとなる合気道の演武披露をご期待下さい。

ご家族の方々のたくさんのご参加を、職員一同よりお待ちしております。

2月行事担当職員一同

【最後に】
今回の介護保険改革では、現行のサービスを利用出来なくなる人や利用者への費用面での負担増加が予定されています。今後も介護保険を継続させるための対策として試算されていますが、大幅な変更等がないまま、施行されると思います。一定の移行措置が実施されると思われ、介護度が低い人に対する見直しは、予防給付の具体像が見えない中、急激すぎるような気がしますが、新たな情報等が入り次第、皆様にお知らせしていこうと考えております。

次回は楽しい入浴についてお話しいたします。お楽しみに。

経口摂取物語

当苑では、「経管栄養から経口摂取への改善」を施設目標の一つとして、頑張っていこうと考えております。その改善例の一部を皆さんに、ご紹介するページをほのぼの苑ホームページ内へ新たに作成いたしました。今後もこの経口摂取物語が続いていくよう、当苑の取り組みにご期待下さい。



ほのぼの掲示板

デイケア利用料

月精算変更のお知らせ

一月まで、日々、利用料金の集金を行ってきましたが、二月からの利用料金は、月精算に変更いたします。今後は、月末締めとなり、翌月始めに請求書を発行させていただきます。利用料金は、今まで通り、ほのぼの苑へ通苑の際、ご持参していただきたいと思います。お手元に届いた請求書で、不明な点がございましたら、事務菅原 哲またはデイケア 細谷 一彦までご連絡ください。ご協力よろしくお願いたします。



幸福

冬どん春に近付いてきているようだ。今まで、午後四時半にもなると暗くなって寂しい気がしたが、最近では、午後五時を過ぎてもまだ明るい状態である。我が家では、小学校最後の学期であり、中学校へ入るための説明会や準備などで、やや忙しくなっている。中学校は制服(セーラー服)であり、学校指定の町内の衣料店が紹介された。妻は県外出身であり、大久保商店街(別名・上町おもしろロード)は分からない。小学校の運動着などは、タミヤ平民で買っていたが、閉店してしまった。妻より、今は①首与呉服店②今彦呉服店③ファッションハウスコタマの三箇所から選ばなければ」と話される。とても厳しい三者択一問題であったが、最終的に③に行つて購入したのである。

今はデパートなどで衣料品は多くの中から選択できる。選んで買うために店は見易くしたり、明るくしたり、格安販売したりと努力を続ける。地元商店は、信用と顔馴染みで商売しているかもしれない。ただ上町おもしろロードが賑わうのは、年末の福引きイベントと入学シーズンだけのように思う。我が家にも、地元商店にも明るい春の到来を期待している。

編集後記

今月、誌面では経口摂取物語をご紹介いたしました。今までも、ポランディアの方々のご紹介、朝礼スピーチ賞の紹介等、新たな試みで充実した内容を、お届けするよう考えてきましたが、今後も様々な情報提供に努めたいと考えております。介護職員による日記の公開も始めましたので、どうぞご覧下さい。

(カ)